



祝福結婚記



隊長

昨日は忘れられない日に...

明日は運命の日に...

なるのか、ならないのか

果たして、

幸運の女神は...

微笑む？ それとも微笑まない？

明日は運命の日...

(2010年8月21日)

コウウンノメガミワラウ

実は...

今日が運命の日となりました。

果たして、その結果は...

「コウウンノメガミワラウ」

....o

幸運の女神笑う？

Yes!!!!

(2010年8月23日)

「もしもし...」

今日初めて、
女神様の声を聞いた...

(2010年8月25日)

女神様との出会い

ついに今日...

生まれて初めて

女神様と出会えた。

運命の神様が出会わせてくれた

この世でたった一人の女神様...

僕は、初めから誓っていたんだ

女神様を一生涯、

永遠に愛する と...

女神様は、はにかんでいた。

僕は今日、生まれて初めて

天国の場所を知った。

女神様と共にいれるところが天国なんだと。

時は瞬く間に流れ...

僕等は、再会を誓い合った...

(2010年8月26日)

アイスルジュンバン

初めての出会いから、

もう 何年の月日が流れたのだろう...

実はまだ、二週間も経っていない

あれから僕にとって、
息苦しい日々が続いている

このままだと僕は、死んでしまいそうだ...

もちろん、死ぬ訳にはいかない

やるべきことは山ほどあるのだ

女神様のことを片時も忘れたことはない

ただ、僕には今、やるべきことがある

僕にはまず、愛すべきものがあるのだ

僕が今、女神様以上に愛すべきもの...

僕らには、アイスルジュンバンがあるのだ

愛する順番が...

(2010年9月6日)

一世一代の告白

昨夜、あるドラマを見た...

男が久しぶりに女に電話している...

二人は互いの声を聞いて、安心したようだった...

しばらくして、男が切り出した...

伝えたいことがあると...

女は頷いた...

「僕と結婚して下さい...」

「はい...」

電話から小さな、でも確かな返事が聞こえた...

男は続けた...

「僕は、あなたを愛しています...」

「僕は一生涯、
永遠にあなたを愛します...」

男の一世一代の告白...

女は答えた...

「これまで生きてきた中で、
今日が一番幸せです...」

男ははにかんだ...

二人のドラマは、未来永劫、永遠に続いていくのだろう...

隊長のドラマは果たして...

(2010年9月12日)

現実を夢に、夢を現実

激しい雨の降る中、
隊長の目の前に現れたのは、
女神様だった...

これは、夢？ それとも幻??

三週間前に会ったのが嘘の様に、
まるで昨日会ったかの様に
確かに目の前に存在している...

女神様は光に包まれていた...

これは夢なのか、現実なのか...

気付くと、僕等は互いに
固い“誓い”を交わしていた。

現実的な隊長が見ていた夢が
現実になった。

—— 現実を夢に、夢を現実

僕等はようやく、歩き始めた...

激しい雨の降る中、二人で...

(2010年9月16日)

“人生劇場” 第一章完結！？

おはようございます、隊長です。

一身上の都合により、
本日**8**日から**12**日まで、
記事の更新が出来ませんので、
ご了承下さい。

ついに...

ついに... **この日**を迎えようとしています。

これまでおよそ二ヶ月近くにわたって
公開してきたこの“人生劇場”の第一章も
今回をもって、ついに完結します。

勿論、人生劇場自体は終わりではありませんが、

『**TAICHO** エピソード1 永遠の花嫁』は

完結します。

そ、そんなタイトルだったんだ...

12日に最終話を書けるかどうか、分かりませんが、
ここまでご愛読下さいました読者の皆様に
感謝の意をお伝えします。

また新たに生まれ変わった隊長として、
これからも頑張っていきますので、
今後ともどうぞ宜しくお願いします。

それでは皆様、ごきげんよう！

隊長はこれから国を越え、
愛する女神様が待つ地に行って参ります！！

(2010年10月8日)

天国への旅

皆様、大変、お久しぶりでございます。

8日から昨日**12**日まで

この日本を離れていた隊長であります。

振り返れば、

あっという間に過ぎ去った期間でしたが、

永遠に忘れられない至福の期間となりました。

隊長たちにとっても、

天国への旅はまだまだ始まったばかりです。

けれど、これまでのような一人旅ではなく、

二人の旅です。

二人でしっかりと手を携えながら、これからの

長い長い天国への旅路を歩いていきますので、

皆様、どうかこれからも隊長たちを

温かく見守ってやってください。

隊長たちをはじめとする善男善女たちの

新しい出発に

幸あれ！

(2010年10月13日)

私たちの境遇

“夢でもいいので会いたいです☆”

そんなことを言われた気がした隊長でした。

今宵も木枯らしが...

ヒュウウウウ...

(2010年11月11日)

隊長をうならせた一言

何気ないメールの中の一から...

『会えたら照れるくせに、
会いたくてたまりません。』

やはりうなってしまうのは隊長だけでしょうか？

続いては、“隊長が自分でうなった一言”を...

これも何気ないメールの中からです...

『きっと**50**年後も、
あなたのシワだらけの手をさすり、
握っているでしょう。』

あなたは最近、誰のどんな言葉にうなりましたか？

隊長はある方とめぐり合ってから、うなる日々が続いております。

今後とも言葉と行動で他人をうならせる人になりたいものです。

(2010年11月19日)

原宿での再会 前編

今日は、隊長にとって、また
忘れられない一日になりました。

久しぶりに女神様との再会を果たすことが出来たのです。

今回の待ち合わせは、原宿駅。

隊長たちが真っ先に向かった先は...

明治神宮！

以前から二人で行こうと決めていた場所だったのです。

また一つ、二人の夢が叶ったのでした。

明治神宮の聖なる場所で祈禱を捧げた二人は、
ひらけた原っぱにレジャーシートをひいて、
のんびりとした時を過ごしたのでした。

その場で女神様は、朝早くに作ってくれた
ガトーショコラをプレゼントしてくれました。

隊長も久しぶりの再会に当たって、
ジュエリーでもプレゼントしたいと思っておりましたが、
金銭的な問題もあって、
今回も“詩”のプレゼントになってしまいました。

しかも今回は、その詩を朗読した音声データを
 아이폰に添付して送るという初の試み！にも
チャレンジしてしまった隊長でした。

事前に録音マイクを入手し、昨夜、
四畳一間で録音を試みた隊長だったのです。

なぜか自分が“ゲゲゲの女房”でも話題の
水木しげる氏に重なって見えるのでした。

そんなこんなの詩のプレゼントでしたが、
女神様は... 大変喜んで下さいました。

ほっと胸を撫で下ろす隊長でした。

(2010年11月25日)

原宿での再会 後編

明治神宮での憩いのひと時をもった二人は、
原宿の街へ。

大学時代はよく原宿、青山にも遊びに来ていた隊長でしたが、
こうして歩くのは久しぶりでありました。

やはり人込みにまいてしまう隊長。

今回の目的の一つにショッピングも含まれておりましたが、
GAP、ZARA... と覗いてはみましたが、
今回は特に何も購入することのなかった隊長でした。

それでも、二人のショッピングに
新たな喜びを見出す隊長でもありました。

時が経つのは早いもので、気付けば外は薄暗く...

帰り際、ドトールで飲み物をテイクアウトし、
最後は代々木公園へ...

街灯の灯りの下、ベンチに腰下ろしながら、
またまったりとした時を過ごすのでした。

このような久しぶりの再会でありましたが、一日中、
隊長はこの上ない幸福感に包まれていました。

外はもう冬でありましたが、
隊長はまさに人生の春を謳歌していたのです！

...なあって、まあまんざらでもない隊長でした。

また来月の再会を誓いながら、駅のホームで
別れを惜しみながら手を振る二人でありました。

やはりこう書いてしまうと、しらけるなあと思いながらも
まあ書いてしまったものは仕方ないと開き直す隊長でもありました。

(2010年11月25日)

未来からのラブレター ～2060年～

—— 50年後、2060年。

～さん、ついに私たちの念願だった
金婚式を迎えることが出来ましたね。

あなたと過ごしたこの50年、
本当に色々なことがありましたが、
こうして二人揃って、
元気に50年目を迎えることが出来、
感無量です。

～さん、50年前、
あなたと初めて会ったことを
今も鮮明に覚えています。

お互いに緊張して、食事も喉を通りませんでしたね。

あれから50年、時が経つのは本当に早いものですね。

～さん、あなたは今もあの頃と変わらずに
輝いています。

私のあなたへの愛も
あの頃と少しも変わっていません。

～さん、あなたを愛しています。

あなたのすべてを愛しています。

こんな私を50年、支え続けてくれたあなたには、
感謝しかありません。

～さん、50年前、私を選んでくれて、
本当に有難う。

そして、この**50**年間、こんな私を愛し続けてくれて、
本当に有難う。

～さん、私は今も、これまで以上にあなたを愛しています。

一生涯、私の人生の最期まで
あなたを愛していきます。

お互いに随分と老け込みましたが、
霊界ではきっと、
お互いが出会った頃の姿でしょうね。

あなたと過ごしたこの**50**年に
一遍の悔い也没有せん。

本当に 本当に幸せな人生でした。

～さん、本当に有難う。

私は、今も あなたを愛しています。

私は、今も あなたを愛しています。

最近、ふと愛する人に
“未来”からラブレターを送りたくなりました。

実際には、**10**年後の**2020**年、**30**年後の**2040**年、
そして現在、**2010**年からと合わせて送ったのですが、

また、今回もそのメッセージだけにとどまらず、
それを朗読して、音声データでも送ってしまった隊長でした。

それは、なんと**8分30秒**にも及びました。

今回、この**50**年後のラブレターを書いている途中、
突如、とめどなく涙が溢れて来ました。

自分でも不思議でしたが、

自分の本心が感動している、
自分の本心から涙を流していると
感じる隊長でありました。

昨夜、会議中、愛する人からメールがありました。

ラブレターに感動して、ぼろぼろと泣いてしまったようです。

予想以上の反応に驚いた隊長でしたが、
思いが伝わったことに改めて喜びを感じる隊長でした。

このように相変わらず、馬鹿なことばかりしている隊長ですが、
これからも相対の為、相対の喜びの為、
愛と創造性を持って、
馬鹿なことをしていくつもりで隊長でした。

あんたは、ホントめでたいよ、隊長。

(2010年12月1日)

ジャズを聴きながらご家族と...

昨日は、婚約者と久しぶりの再会を
果たすことが出来ました。

隊長の趣向で、また今回も
とある公園の日本庭園で
二人のんびりと過ごしたのです。

今回は、クリスマスが近いこともあり、
婚約者からもプレゼントに
隊長が必要としていた手袋と、
手作りのお菓子、手紙を頂きました。

隊長からもいつものように詩と手紙を、
そして、プレゼントは...

...内緒です。

そして、今回はなんと、
婚約者のお母さん、妹さんとも
会うことになっておりました。

夜19時頃から
サンマルクカフェというレストランで
4人での会食になりました。

今回は、初対面ということもあり、
向こうのお母さん、妹さん、そして、
婚約者もとても緊張しているようでありましたが、
会食は美味しいパンや食事もあって、
終始、和やかな雰囲気でありました。

しかも、昨夜はたまたま、
店内でジャズの生演奏があり、
ムーディーで、贅沢な空間が演出されておりました。

大学時代からジャズを愛聴し、
今もたまに聴いている隊長にとっては

大変嬉しいサプライズでもありました。

愛する人たちに囲まれながら、また
忘れられない夜が更けてゆくのでした。

いつかは二人で、ジャズを聴きながら、
ゆったりとお話したいと思う隊長でした。

(2010年12月21日)

クリスマスの夜に...

メリークリスマス！って、
もう一夜が明けておりますが、
昨日はセミナーの講義を担当していた隊長です。

セミナーの最後に参加者の方とも一緒に夕食を頂きながら、
楽しい一夜を過ごさせて頂きました。

家に着くと、もう**11時半**をまわっておりました。

プルルル プルルル...

隊長の携帯電話が...

「もしもし...」

クリスマスの夜に
電話をする約束をしていた婚約者からでした。

果たして二人は、来年のクリスマス
一緒に過ごせるのでしょうか？

また一年後のお楽しみですね。

(2010年12月26日)

年末最大のミッション

今回は、静岡の実家で
年末を迎えております。

家族と年越しそばを頂き、
紅白などを見て過ごしておりましたが、

隊長には、今回の帰省において、
非常に重大なミッションがありました。

それは...

両親に隊長の愛する人を紹介すること！

なあんだそんなことかと
思うかもしれませんが、これは隊長にとって、
一世一代の告白でもあったのです。

またいつものように大袈裟な隊長ですが、

隊長も意を決して、両親に切り出すのでした。

「お父さん、伝えたいことがあるんだけど...」

「何？」

「今、交際している人がいるんだけど...」

果たして、両親の反応は！？

好感触でした。

ほっと胸を撫で下ろす隊長。

新しい年を迎え、

一人居間でくつろいでいる隊長に電話が...

隊長の愛する人も心配して電話してきてくれました。

何とか**2010**年の最後の山場を

二人で越えることが出来、

今年も一年、様々なこともあるかと思いますが、

愛と信仰で越えてゆく決意を新たにする隊長でした。

(2010年12月31日)

母との買い物

今日は午後からぶらり

母と買い物に行ってきた。

婚約者へのプレゼントを買う為に

雑貨屋さんに行ったのですが、

母も一緒になって

プレゼントを選んでくれました。

母の鑑識眼とアドバイスもあって、

冬に温かいブランケットと靴下を

買うことが出来ました。

今回は、婚約者と三人で

買い物に行きたいと思う隊長でした。

お母さん、これからも

隊長の愛する婚約者のことをよろしくね！

(2011年1月3日)

渋谷で偶然の再会！？

仕事帰りの渋谷で偶然にも！？

婚約者と再会を果たすことが出来ました！！

最後に会った去年の年末から、
今年になって会うのは初めてでしたが、

昨日までの仕事の労をねぎらう

神様からのご褒美のように感じる隊長でした。

しかし、婚約者に予定があったこともあり、

一緒にいられた時間はわずか**20分**程度でした。

会えるのは嬉しいが
別れるのが寂しい...

改めて、
二人で一つの家に戻ることを願う
隊長でした。

(2011年1月12日)

婚約指輪！？

昨夜は、久しぶりに
婚約者との再会を果たすことができました。

今月迎える隊長の誕生日を
お祝いしてもらうことになっていました。

場所は勿論、隊長が
雰囲気の良い、
ムーディーな場所をセレクトしておきました！

さすが

M・O・O・D・M・A・N...

MOODMAN!!!!隊長!!!!

さて、婚約者からはプレゼントに
手紙と名刺入れ、ハンカチなどを頂きました。

婚約者は、隊長が言うのも何ですが、
とてもセンスが良く、これまで頂いた
ネクタイや手袋なども
大切に使用してもらっています。

婚約者からのプレゼントと
愛のこもった手紙を頂いて、
ご満悦な隊長でしたが、

実は今回、隊長からも
婚約者にプレゼントを準備していたのです。

そのプレゼントとは...

指輪！ でした。

これまでブレスレットを
プレゼントしたことはあった隊長でしたが、
指輪は初めてでした。

あらかじめ指輪のサイズは聞いていましたが、
果たして、婚約者の指に合うのか...

隊長、指輪を婚約者の薬指に...

P · I · T · T · A · R · I ...

ピッタリでした！！

婚約者もとても喜んでくれました！！

また例のごとく、詩集（2010年未発表作品）も
プレゼントする隊長でした。

婚約者と祝う、初めての誕生日でしたが、

隊長、人生で最高の誕生日になりました。

いやぁ 生まれて良かったなあと
しみじみ思う隊長でした。

（2011年1月26日）

バラの花を手に...

昨夜、

バラの花を手に婚約者に会った。

一輪の真っ赤なバラの花を片手に
一人、渋谷の街を歩いていると、

妙な気分になった...

一日遅いバレンタインデー...

(2011年2月16日)

枯れないバラ

今回は、ちょっといい話を。

先月の**15日**、婚約者と会った時に
一輪の真っ赤なバラをプレゼントしました。

その後、婚約者もそのバラを花瓶に挿して、
飾っていたようなのですが、

なんとそのバラ、昨日までの三週間、
全く枯れずに美しく咲き続けていたというのです！

果たして、一輪のバラが三週間も
美しく咲き続けられるものなのでしょうか？

ちょっとした**アンビリバーボー！**
じゃありませんか？

人もバラも
愛のあるところに
咲くのでしょうか？

(2011年3月8日)

緊張の初対面...

さて、今度の土曜日ですが、隊長にとって、
とても大事なミッションがあります。

それは...

婚約者を実家に連れて行きます！！

おお～！！

先月は、
隊長が婚約者のご家族にお会いしましたが、

今回は、
婚約者が隊長の家族に会うことになっています。

今回が初対面となりますが、
果たして、隊長の家族は婚約者を
受け入れてくれるのでしょうか？

緊張の初対面...

果たして、どうなる？

(2011年3月10日)

婚約者のご自宅に...

昨日は、婚約者を
隊長の実家に連れて行く予定でしたが、

地震の影響もあり、
今回は見合わせるようになりました。

その代り、婚約者のご実家に
急遽、お邪魔させて頂くことになりました。

先月、婚約者のご家族とは
レストランで一緒に夕食を頂きましたが、

今回は、ご自宅の方で、
お寿司や焼き肉、キムチチゲ、
ケーキ（は食べれませんでした）を
ご馳走になってしまいました。

隊長も随分とくつろいでいましたね。

やっぱり家族っていいですね。

次こそは、
隊長の家族に紹介します！！

(2011年3月13日)

祝福結婚記 ～合同結婚式に参加した私たち～

<http://p.booklog.jp/book/26664>

著者 : tenshizin

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/tenshizin/profile>

発行所 : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/26664>

ブクログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/26664>